

越谷市

平成30年度ダイオキシン類環境調査結果をお知らせします

市では、一般環境中のダイオキシン類の汚染状態を総合的に把握するため環境調査を実施しています。このたび、平成30年度の市内における大気、河川水質、河川底質、地下水、土壌のダイオキシン類環境調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

《大 気》

市役所屋上にて調査を実施したところ、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/m³)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
平成30年5月17日～24日	市役所第二庁舎屋上	0.038	年間平均で 0.6pg-TEQ/m ³ 以下
平成30年7月12日～19日	〃	0.044	
平成30年10月11日～18日	〃	0.023	
平成31年1月10日～17日	〃	0.077	
年 間 平 均 値		0.046	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る大気環境測定マニュアル」(平成20年3月改定 環境省 水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課) に準拠

《河川水質》

市内の代表的な河川の水質について調査を実施したところ、綾瀬川、大落古利根川及び元荒川については、年平均値で環境基準を下回る結果となりました。新方川については、年平均値で環境基準を上回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査地点	調査年月日	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年	年平均	環境基準
		4月20日	7月31日	10月11日	1月23日		
新方川	昭和橋	0.57	2.4	1.3	0.69	1.2	年間平均で 1pg-TEQ/L 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	0.57	2.2	0.93	0.49	1.0	
大落古利根川	ふれあい橋	0.29	0.78	0.78	0.53	0.60	
元荒川	中島橋	—	—	0.59	—	0.59	

注) 測定は、「日本工業規格K0312(2008)」に準拠

《河川底質》

市内の代表的な河川の底質について調査を実施したところ、全調査地点において環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査地点	調査年月日	平成 30 年 10 月 11 日	環境基準
新方川	昭和橋	9.5	150pg-TEQ/g 以下
綾瀬川	綾瀬川橋	3.1	
大落古利根川	ふれあい橋	3.4	
元荒川	中島橋	1.8	

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」(平成 21 年 3 月環境省水・大気環境局水環境課) に準拠

《地下水》

今年度は、市内 1 地点で地下水の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/L)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
平成 30 年 11 月 9 日	レイクタウン六丁目	0.017	1pg-TEQ/L 以下

注) 測定は、「日本工業規格 K 0 3 1 2 (2008)」及び「平成 12 年 4 月 26 日付け環水企第 231 号の通知」に準拠

《土壌》

今年度は、市内 1 地点で土壌の調査を実施し、環境基準を下回る結果となりました。

(単位：pg-TEQ/g)

調査年月日	調査地点	調査結果	環境基準
平成 30 年 10 月 31 日	東越谷七丁目	0.13	1,000pg-TEQ/g 以下

注) 測定は、「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」(平成 21 年 3 月環境省水・大気環境局土壌環境課) に準拠

《今後の取り組み》

平成 30 年度に実施した河川水質の測定において、新方川が年平均値で環境基準を上回ったため、令和元年度(2019 年度)も年に 4 回の測定を実施する等、一般環境中のダイオキシン類のモニタリングを実施すると共に、他関係機関との連携を図り、情報の収集に努めてまいります。

〈問い合わせ先〉 環境政策課
電話 963 - 9186 (直通)